

香川大学における利益相反ポリシー

香川大学は、教職員による教育研究の成果を産業界等との連携を通じて積極的に地域社会に還元することを目指す。そのことが地域社会の活性化に貢献するとともに、本学の教育研究の活性化・高度化並びに経営基盤の強化に資すると考える。

産業界等との連携活動を積極的に進めると、教職員の「本学における職務」と「他の組織における職務」との間で利益相反状態が発生すると考えられる。利益相反ポリシーは、産学官連携の実施で生じる利益相反の調整及び透明性の確保により、社会から信頼される活動とするための基本的方針を定めるものである。

[活動の透明性]

(1) 本学の教職員は、「他の組織における職務で生じる私的利益」が「本学における職務」を遂行する上での信頼性に疑惑を抱かれないよう、産学官連携の諸活動に透明性を確保しなければならない。

[本学の職務の優先]

(2) 本学の教職員は、「他の組織における職務で生じる私的利益」を追求するあまり、「本学における職務で期待される利益」を損ねてはならない。

[学生の権利の尊重]

(3) 「学生の学ぶ権利に基づく利益」と「教職員が他の組織の職務で得る利益」が相反する場合、「学生の学ぶ権利に基づく利益」を優先する。

[公共性の確保]

(4) 本学の教職員は、「他の組織における職務」の遂行で「私的利益」と「公共の利益」の両方が発生し、それらが「本学における職務で期待される利益」と相反する場合で、かつ、「公共の利益」が本学の使命に照らして同等の重要性をもつと判断される場合には、「公共の利益」を損ねないように努めるものとする。

[組織としての対応]

(5) 本学が定めた利益相反に係る審査手続にそって産学官連携を行う教職員の利益相反に関して、社会から疑義が表明された場合、本学はその利益相反の説明責任を果たす。

平成18年3月23日制定